

2023年度 横浜市国際学生会館報告書

ANNUAL REPORT 2023
YOKOHAMA INTERNATIONAL STUDENT HOUSE



公益財団法人 横浜市国際交流協会



目 次

第1章	2023年度 学生会館の主な取組	1
第2章	事務事業体系図	5
第3章	会館の概要	6
第4章	総務関係	
1	宿泊施設の提供	7
2	危機管理	9
第5章	自主事業関係	
1	国際理解事業	10
2	地域貢献事業	14
3	留学生支援事業	15
4	行政施策への協力	17
5	広報事業	18
第6章	イベントカレンダー	19
第7章	2023年度 予算決算書	23
第8章	留学生統計	24

第Ⅰ章 2023 年度会館の主な取組

新型コロナウイルスによる感染症が5月8日から5類感染症に分類されたことに伴い、海外から日本への入国制限が緩和されました。それまでは、留学生が入国できなかったため年度当初に入居者数が予定数に達せず空室が生じたことから、2次募集を実施して入居者の確保に尽力し年度途中に予定数に到達しました。

4月には新入居者歓迎会を行いました。感染に十分に配慮しながらも、4年ぶりに対面で開催することが出来るようになり、大学院、大学等の授業もオンラインから教室での対面になり学校に向かう学生たちの姿を毎朝見かけるようになりました。

またマスクなしでの学生たちの素顔を久しぶりに見ることができ、入居者同士が集まって飲食したり、観光に行ったり、友人を会館に招くこともできるようになったので、留学生の笑い声・笑顔など楽しそうな雰囲気を感ぜられるようになりました。

事業においても対面とオンラインの両方で実施するハイブリッド形式で行っていましたが、主に対面（特に出前授業、グループ語学サロン、語学教室、文化講座等）で開催できるようになりました。

この3年間開催を見送っていた 9 月の潮田交流プラザ秋まつりでの「インターナショナル・カフェ」と「国際屋台村」もようやく通常通り開催出来るようになりました。

カフェや屋台の企画に、13か国にもものぼる国と地域の留学生が参加して、多くの市民と交流を行うことが出来ました。

「インターナショナル・カフェ」の企画は、「2023 年度留学生地域交流事業（公益財団法人中島記念国際財団助成）」としても採択され、助成金を事業経費に使用しました。

学生の研究発表会も新たに企画を練り直し「1st YISH Congress 2024」として 4 年ぶりに実施し多くの参加者を得ることが出来ました。

上記以外にも地域の様々なイベントが通常通り開催されるようになり、各イベントに留学生たちが参加しました。



インターナショナル・カフェの様子



国際屋台村の様子



祭礼の様子

Ⅰ 総務関係

(1) 入退館業務

4月の時点で单身室に9部屋もの空室が生じたので、3月中に2次募集を実施し、その後も継続的に募集を行ったことにより、7月には満室にする事ができました。

また来日できず空室となっていた横浜市立大学の交換留学生用の部屋も 24 人が 4 月に入居する事が出来ました。

新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、感染が落ち着いてきたと言っても感染の可能

性はあるので、慎重になるところが多く、入居している学生の健康と安全を守りながら、通常通りに受け入れるには時間を要しました。

(2) 建物設備の維持管理

今年度は学生たちが利用する共用ランドリールーム2室（男性用と女性用）のリニューアル工事を実施し、老朽化により不具合が多発していた洗濯機と乾燥機を新しくするとともに壁の塗り替えや配管の清掃なども行い、より快適に利用できるように改善いたしました。

学生会館内の照明器具の LED 化工事は、全館 LED 化計画の 2 年目で、外部の方も多く利用する3階ホールと4階への吹き抜け階段部分を交換し、より明るく安全に施設を利用できるようになりました。

また居室内の照明も全て LED 化する予定で、今年度は臨時宿泊室5室と研究者室5室を実施しました。

毎年 1 フロアずつ更新している共用廊下の壁紙や床のタイルカーペットの貼替工事ですが、今年度は 8 階の廊下をリニューアルし、居室内も汚れが目立つ部屋から 16 室の貼替工事を行いました。

老朽化により設備交換が必要とされている空調設備や消防設備については、建築局や点検業者と相談しながら、適切な状態を保てるように部品交換等を実施し延命を図っています。

(3) 危機管理対策

4月と12月に、潮田交流プラザ三施設合同の防災訓練を実施しました。4月は主に新しく入居した留学生向けに火災時の避難と消火訓練を行い、12月は地震発生時の避難、消火、煙体験に加え、救命のため AED（除細動器）の使い方や車椅子の操作方法を学びました。

潮田地域ケアプラザの職員に車椅子操作の説明をしていただき、災害時には同じ建物内の施設で助け合うことも意識することができました。

昨年度に続き、災害発生時の情報発信手段として LINE 公式アカウント「YISH emergency 2023」を開設し、全ての学生が登録しました。

さらに安否確認訓練も、e メールと LINE の 2 種類の送信方法で年 2 回実施しました。

2 自主事業関係

(1) 国際理解事業

今年度は訪問した全ての学校で対面式による授業の実施をすることができました。久しぶりの対面式交流とあり、児童・生徒も留学生たちも双方とも期待感が高まり、学校での歓迎にも熱が入り充実した授業展開ができました。

また従来の異文化理解・相互交流を一步踏み出し、英語でコミュニケーションを図る態度を育む「小学校英語活動授業」や新学習指導要領で今年度からスタートした「高校の地理総合」の授業での留学生の自国紹介など、新しいニーズに柔軟に対応しました。

個人語学サロンはハイブリッド形式、グループ語学サロンは対面形式で実施しました。

夏期休暇中、会館で時間を過ごす留学生も多いため留学生と交流する目的で、英語、韓国語の他に日本国内で教室の少ない希少言語（ウズベク語、ウルドゥ語とモンゴル語）の語学教室も対面形式で実施しました。

母国文化を紹介する「文化講座」では、韓国、ミャンマーの文化理解を深めてもらう講座を実施しました。観光や仕事で現地を訪問したことがある参加者は、留学生との直接対話を通じた交流を楽しんでいました。

秋まつりの「インターナショナル・カフェ」と同様にミャンマーの文化講座も 2023 年度留学生地域交流事業（公益財団法人中島記念国際財団助成）として採択され、費用の一部を助成金で実施しました。

また、潮田・寺尾地区センターとの共催講座では、バングラデシュとウズベキスタンからの留学生とその家族を講師として派遣し、それぞれの国の魅力について紹介し、参加者と交流を図りました。また潮田地区センターとの共催料理教室としてウズベキスタン料理の講座を開催し、料理を通して地域住民と交流を深めました。

「ホームビジット」では11人の留学生とその家族が、登録しているボランティアの家庭を訪問しました。

(2) 地域貢献事業

今年は「潮田交流プラザ秋まつり」で通常通り「インターナショナル・カフェ」と「国際屋台村」を開催できました。小学校で行われた地域防災拠点開設・運営訓練には留学生が職員とともに参加し、地域防災の担い手としての意識を高めました。

潮田神社例大祭の本町通りパレードでは4年ぶりに30名以上の留学生やその家族たちが参加し祭りを盛り上げました。

例年行ってきた地域行事（潮田西部地区連合納涼祭、潮田西部地区大運動会、本町四丁目自治会防災訓練、支え合いパーティー、本町四丁目自治会もちつき大会、USHIODA フェスタ）も通常通り開催されるようになり、留学生たちも積極的に参加し地域住民と交流しました。

(3) 留学生支援事業

学生会館で活動するボランティアの皆さんの活性化という目的で 2022 年度から始まった「ボランティア主体事業」ではボランティアの皆さんが中心となって、日本文化を紹介する様々なイベント（座禅体験、動物園への見学、初詣、抹茶体験とお花見、バザー）の企画から運営までを行いました。その他にも、生活のサポートとして日本語を教えるボランティアの紹介など交流しながら日本語、日本の文化などを学ぶきっかけを作りました。

ボランティアの育成として「情報交換会」を開催し、学生会館でのボランティア活動について自らの事例紹介や困りごとなどについて話し合う機会を設けました。

月次でレジデントアシスタント（RA）と留学生会（YRA）代表のミーティングを開き、入居者と職員との情報交換の場にもしました。留学生たちはアイデアを出し合って月 1～2 回親睦イベントを開き、交流の輪を広げていきました。

学生会館での生活に早くなじめるようにするため歓迎会を開催し、また思い出を作れるように心がけて送別会を開催しました。

その他にも NPO 団体から企業や自治体などが災害に備えて備蓄する食料や飲料で新しいものに保管換えとなった物品をもらい受け、ほぼ 1 年間を通じて入居者に配布しました。

(4) 行政施策への参画・協力

7 月に韓国の仁川広域市少年サッカー選手団と横浜市のジュニア選抜サッカーチームとの交流会に通訳者として韓国の留学生が協力しました。

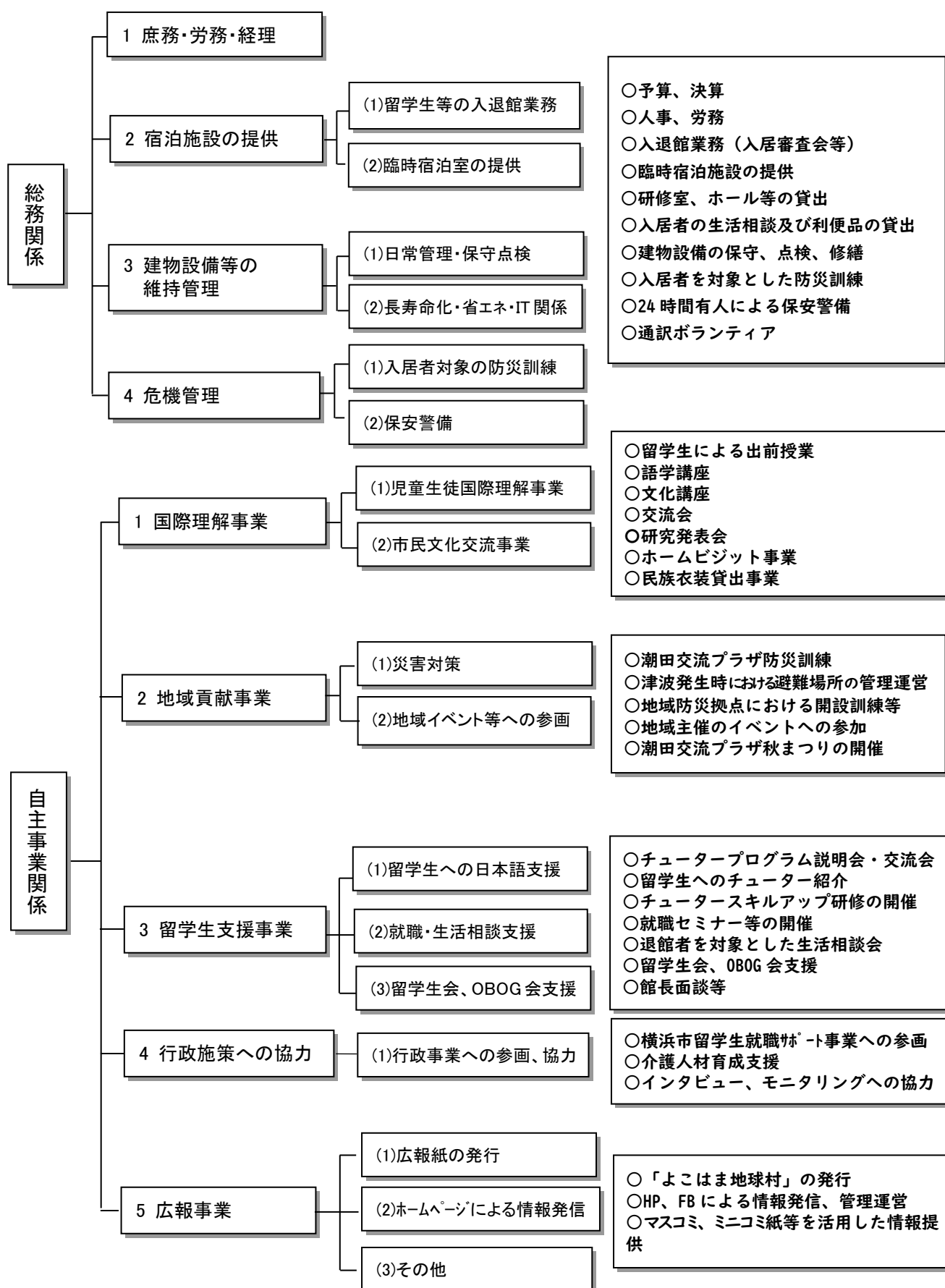
鶴見消防団の訓練にも 7 月と 8 月に留学生が参加しました。

3 月に英語でのサイエンスフロンティア高校ポスター発表会に 30 人の学生がオブザーバーとして参加して、高校生のスキル・モチベーションの向上に協力しました。

(5) 広報事業

季刊紙『よこはま地球村』、ホームページ、行政の広報紙、地域情報紙を活用して文化講座、会話サロンなど会館の事業に関する情報を発信しました。

第2章 事務事業体系図



第3章 会館の概要

◇**設立目的** 横浜市内の大学等に通う留学生等に対して宿泊施設を提供するとともに、さまざまな交流事業を通して市民の国際理解の増進に寄与することを目的としています。

◇**名 称** 横浜市国際学生会館

◇**所在地等** 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4丁目171番地の23

Tel 045-507-0121 Fax 045-507-2441 <https://yish-yoke.com/>

◇**設 置 者** 横浜市

◇**開 設 日** 1994(平成6)年5月1日

◇**運営主体** 公益財団法人横浜市国際交流協会が第4期指定管理者として管理運営を行っています。

◇**施設概要** 建物概要:鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下2階地上13階建

総称名「潮田交流プラザ」

1階 潮田地域ケアプラザ、2階 潮田地区センターとの複合施設

学生会館部分施設概要:3階～13階／延床面積 6,969.22 m²

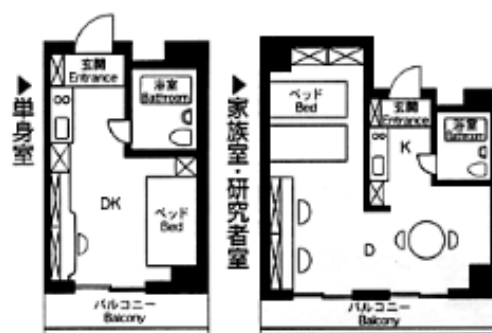
3・4階 事務室、ロビー、ホール、研修室、ラウンジ、音楽室、談話室、学習室

5～13階 宿泊室、洗濯室、図書室、倉庫

◇宿泊施設

横浜市内の大学・大学院・専修学校等に通う留学生や、市内研究機関等で研究するために来日する海外の研究者に宿泊施設を提供しています。また、OBOG や入居者の親族等が宿泊できる臨時宿泊室もあります。

宿泊室種類	室 数	定 員
単身室 (18 m ²)	95	95
家族室 (38 m ²)	10	20
研究者室 (38 m ²)	5	10
臨時宿泊室(18 m ²)	5	10
合 計	115 室	135 人



居室レイアウト(例)

◇研修室・ホール

国際交流や異文化理解を目的とする会合や催しに利用できます。

・研修室2室(定員38人、18人)/3階ホール(定員80人)

◇学習室・ラウンジ

4階に、書籍を閲覧できる学習室とラウンジがあります。

◇生活利便性の提供

全館にインターネット環境が整備されています。入居者は自転車、掃除機、スポーツ用具などを借りられるほか、3階ロビーで新聞の閲覧や、4階音楽室で楽器の練習ができます。

第4章 総務関係

I 宿泊施設の提供

(1) 留学生の入退館業務

2023年4月の入居者は、28か国・地域の99人(留学生89人、レジデントアシスタント7人、研究者3人。)でした。横浜市大の交換留学生の優先枠は25室で、留学生募集数34(単身室:留学生30室、RA5室、家族室:4室)、倍率は1.03倍(留学生応募総数35人)でした。

2023年度入居状況 4月1日現在

1 校種別

学校別	留学生・RA			研究者	合計	
	単身室	家族室	小計			
1 大学院	33 (2)	10	43 (2)		43	(2)
2 大学	43 (4)		43 (4)		43	(4)
3 専門学校	10		10		10	
4 研究機関			0	3	3	
計	86 (6)	10	96 (6)	3	99	(6)

※ () の数値は、RAの人数

2 出身地別 (同居人を除く)

(計 28か国/地域)

出身別	留学生・RA			研究者室	合計	
	単身室	家族室	小計			
1 中国	24		24		24	
2 韓国	10		10		10	
3 ベトナム	6	2	8		8	
4 アメリカ	5		5	2	7	
5 イタリア	5		5		5	
6 ネパール	3	1	4		4	
7 インドネシア	2	1	3		3	
8 オーストリア	3		3		3	
9 ガーナ	3		3		3	
10 ミャンマー	3		3		3	
11 ザンビア	2		2		2	
12 スペイン	2		2		2	
13 台湾	2		2		2	
14 バングラデシュ	1	1	2		2	
15 メキシコ	2		2		2	
16 ウズベキスタン		1	1		1	
17 エチオピア		1	1		1	
18 カナダ	1		1		1	
19 カンボジア	1		1		1	
20 スウェーデン	1		1		1	
21 セネガル	1		1		1	
22 タンザニア	1		1		1	
23 ドイツ			0	1	1	
24 トーゴ		1	1		1	
25 パキスタン		1	1		1	
26 フランス	1		1		1	
27 モンゴル		1	1		1	
28 日本	7 (7)		7 (7)		7 (7)	
計	86 (7)	10	96 (7)	3	99	(7)

※ () の数値は、RAの人数

家族室の子供を含む入居者の総数は、4月時点で99人でした。

内訳は、大学院生43人、学部生43人、専門学校生10人、研究者3人で、大学院生、学部生は同数でした。

学校別では多い順に、横浜市立大学33人(33%)、横浜国立大学28人(28%)、関東学院大学7人(7%)でした。



3 学校別		留学生・RA										研究者	合計		
		単身室				家族室			小計						
		院	学部	専門		院	学部	専門		院	学部			専門	
1	国立	横浜国立大学	16	4			8			24	4			28	
2		東京藝術大学大学院	2							2				2	
3	公立	横浜市立大学	7 (3)	26 (3)						7 (3)	26 (3)			33 (6)	
4	私立	神奈川大学	3	3						3	3			6	
5		慶応義塾大学	3	1						3	1			4	
6		関東学院大学	2	5 (1)						2	5 (1)			7 (1)	
7		フェリス学院大学		3							3			3	
8		横浜薬科大学		1							1			1	
9		東京都市大学	2							2				2	
10	専門学校	岩谷学園専門学校			2							2		2	
11		アーツカレッジヨコハマ			4							4		4	
12		あずま工科専門学校			1							1		1	
13		横浜システム工学院専門学校			1							1		1	
14		横浜デザイン学院専門学校			1							1		1	
15		横浜YMCA学院専門学校			1							1		1	
16	その他の機関	アメリカ・カナダ学生連合日本研究センター											2	2	
17		理化学研究所											1	1	
計			35 (3)	43 (4)	10		8	0	0	0	43 (3)	43 (4)	10	3	99 (7)

※ () の数値は、RAの人数

《満足度調査》

退館者及び延長者に対し無記名での満足度調査を行い(集計数98)、結果は全てにおいて高評価でした。

- ・住み心地： 97%
- ・スタッフ対応： 99%
- ・安心・安全： 98%
- ・施設設備： 89%

(2) 臨時宿泊室の提供

会館には、入居者の親族や友人、あるいはOB・OGが来たときに利用できる臨時宿泊室が5部屋用意されています。2023年度の稼働率は55.8%(1,019泊)で、前年度比13.5%増でした。



2 危機管理

(1) 消防避難訓練

4月22日(土)に1回目の潮田交流プラザ合同防災訓練を開催し、学生とスタッフ併せて59名が参加しました。

12月9日(土)に開催した2回目の合同防災訓練には総勢48名が参加し、入船消防出張所にご協力いただき、AEDの使い方や心肺蘇生法を学びました。また 潮田地域ケアプラザ職員による車椅子操作のレクチャーもあり、緊急時には同じ建物内の施設同士で連携をとって助け合うことも再確認しました。



消防訓練



AED 訓練



車椅子操作の練習

(2) 安否確認訓練

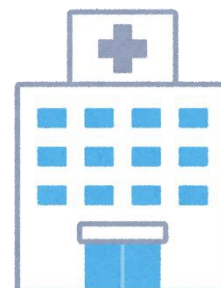
全入居者と職員に e メールと LINE の 2 種類の送信方法で安否確認訓練を行いました。多くの学生が当日中に返信を送ってくれました。

- ・第1回(6月28日)返信率: 78%(90返信/116送信)
- ・第2回(1月30日)返信率: 91%(99返信/109送信)

(3) 緊急時の通訳ボランティア

留学生たちにとって、日本での生活で最も不安なことの 하나가、病気やけがです。2023年度は、事務室スタッフが英語/日本語で23件の医療関係の相談に乗りました。

夜間や休館日に日本語を話せない留学生が体調を崩しても対応できるように、日本語を話せる学生による通訳ボランティア制度があります。これには夜間・休日の緊急対応が4件ありました。



第5章 自主事業関係

I 国際理解事業

(1) 児童生徒国際理解事業

① 留学生による出前授業

留学生が市内の小・中・高校の授業に講師となり、留学のきっかけ、日本での興味関心、研究テーマなどについて語ってもらいました。また、出身国の文化（挨拶の言葉、遊び、民族衣装等の紹介）や社会状況なども紹介しました。

「出前授業」を通して日本との違いや共通点を肌で感じ、留学生と各国について関心を持ってもらうと共に、質疑応答や交流を通じて異文化理解、相互理解を深めました。

《出講実績》

- ・実施期間：7月3日～2月21日
- ・参加者：児童・生徒 2,412人、留学生 延べ 37人
- ・出講校数：17校 59クラス（小学8校、中学校8校、高校1校）



K-Pop ダンスの振り付けを教え、一緒に踊る
（横浜市立金沢中学校）



旧正月の切り絵の作り方の説明
（横浜市立南が丘中学校）

② グローバル人材の育成

横浜市立横浜サイエンスフロンティア中学・高等学校での「総合地理」と「グローバルスタディーズ・特別講話」にウズベキスタン、南スーダン、ソマリア、ミャンマー等 10ヶ国の留学生を派遣しました。留学体験や研究内容などについて語ることで、300人を超える中高生と熱心な質疑応答を通じて交流を深めました。

また鶴見大学附属中学高等学校で放課後に開催される「イングリッシュカンバセーションラウンジ」に年間を通じ2名の留学生を派遣し英語力の強化と交流に努めました。



「ソマリア女性の社会進出の重要性」について説明（サイエンスフロンティア中学・高等学校）

(2)市民文化交流事業

ア 国際理解講座、交流会・研究発表会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたグループ語学サロン、語学教室、研究発表会を4年ぶりに復活させました。またオンラインで実施していた個人語学サロンの一部も対面式で実施することができました。








夏休みを上手に利用しながら複数の語学講座に挑戦する中・高生も見受けられ、市民と留学生が講座を通じて有意義な時間を過ごしました。

今年度は、前期と後期に1回ずつ文化講座を実施しました。講座の中では、留学生によってふだんあまり知られていない出身国の文化や風習などを参加者に届けることができました。

4年ぶりに学生の研究発表会を市民の聴講を受け付け「1st YISH Congress 2024」として2月に実施しました。学生たちが市民向けに日本語と英語で現在取り組んでいる研究内容について分かりやすく発表を行うと共に、質疑応答を通して市民との交流を深めることができました。

- ・語学サロン:6ヶ国語 34 回(参加者:市民等 53 人、学生 39 人)
- ・語学教室 :4ヶ国語の 3 回連続講座(参加者:市民等 16 人、学生 4 人)
- ・文化講座 :2 回(参加者:市民等 37 人、学生 23 人)
- ・研究発表会:8 人の発表(参加者:市民等 14 人、学生 11 人)

実施日	講座名・様子
6月19日 ～8月27日	個人オンライン語学サロン ・5ヶ国語(19回) <div>   </div> <div> スペイン語 フランス語 </div>
7月1日	留学生による文化講座 テーマ:「KOREA～韓国の若者は今～」 講師:韓国からの市大交換留学生 <div>  </div>
7月23日 ～7月29日	グループ語学サロン ・3ヶ国語(3回) <div>    </div> <div> 英語 中国語 韓国語 </div>

実施日	講座名
<p>8月2日 ～8月26日</p>	<p>語学教室 ・4ヶ国語(格言3回連続)</p> <div data-bbox="411 315 928 573">  <p>モンゴル語</p> </div> <div data-bbox="957 309 1404 573">  <p>ウズベク語</p> </div> <div data-bbox="399 613 957 913">  <p>韓国語</p> </div> <div data-bbox="1005 613 1415 913">  <p>ウルドゥ語</p> </div>
<p>11月25日</p>	<p>留学生による文化講座 テーマ:「不思議!ミャンマーの伝統的な文化」 講師:ミャンマーからフェリス女子大学に 来ている留学生</p> <div data-bbox="1002 965 1430 1285">  </div>
<p>2月24日</p>	<p>研究発表会 テーマ:1.ワニのヘモグロビンの分子構造からワニの生態と進化を考察する - 高橋捷也 2.翻訳の苦勞 - Epafras Kezia Beatifica 3.源氏物語の魅力的な世界 - Mindlin Xavier Helena 4.カンボジアにおける土地所有権の法的関係と権利証に関する考察 - Sou Yaly 5. Exchange Rate Pass-through to Prices in Uzbekistan - Chaudhary Pabitra 6. Study on Adaptive Model and the Adaptive Mechanisms for Thermal Comfort in Japanese Office Buildings - Khadka Supriya 7. Business Model Proposal for Agriculture and Tourism Business Sectors Supported by ICT System in Nepal through Systematic Business Process - Mirzaakhmedov Rashid 8. Gender Equality in Politics: Women's Inclusivity in Leadership Roles - Omar Kadra Yusuf</p> <div data-bbox="469 1744 911 2049">  </div> <div data-bbox="954 1756 1404 2049">  </div>

実施日	講座名
	民族衣装貸し出し(6件) 神奈川芸術文化財団、石川県小松市国際交流協会、こんにちは・国際交流の会、 鶴見国際交流ラウンジ、みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ

イ ホームビジット

今年度は、コロナ後はじめて、何の制限もかけずホームビジットを行うことができました。2023年度末時点で ホームビジットボランティア登録者数は34家庭、実施件数は夏期春期合わせて8件でした。

ホームビジット後も日本人家庭と交流を続けている留学生もいて、草の根の国際交流のきっかけづくりとなっています。



2 地域貢献事業

(1)災害対策

毎年2回行われる潮田交流プラザ三施設合同の防災訓練加えて、学生会館が所属する地域の防災訓練にも積極的に参加しています。

9月に近隣の汐入小学校で行われた連合自治会主催の「地域防災拠点開設訓練」には、学生5名が参加し、地域の方にご指導いただきながら、震災時仮設トイレの設置方法を学び、物資を運ぶ練習をしました。



(2)地域イベント等への参画/参加

潮田地区の5連合自治会と協働で開催している潮田交流プラザ秋まつりでの「インターナショナル・カフェ」と「国際屋台村」もようやく通常通り開催となりました。カフェや屋台の企画に、13ヶ国の国・地域の留学生が参加して、自国の料理、飲物、お菓子などを提供しました。

今年度の学生会館の「インターナショナル・カフェ」の事業企画は、2023年度留学生地域交流事業（公益財団法人中島記念国際財団助成）として採択され、いただいた助成金を事業経費に使用しました。

潮田神社例大祭の本町通りパレードに4年ぶりに30名以上の留学生やその家族たちが参加しました。地域の方々と一緒に本町通四丁目自治会の神輿をかつぎ、日本の伝統行事を体験し祭りを盛り上げました。

例年行ってきた地域行事（潮田西部地区連合納涼祭、潮田西部地区大運動会、本町四丁目自治会防災訓練、支え合いパーティー、USHIODA フェスター、本町四丁目自治会もちつき大会）も通常開催となり、留学生たちが地域と交流できる機会となりました。



秋まつり



潮田神社例大祭



運動会



納涼祭



支え合いパーティー



もちつき大会

3 留学生支援事業

(1) 留学生への日本語支援

マンツーマンの日本語レッスンを希望する留学生に、ボランティアを紹介しています。2023 年度は、オンラインのみを希望する人は留学生側にもボランティア側にもおらず、対面で行うことを基本としています（併用しているペアもあり）。

2023年度からボランティア登録をオンラインフォーマットに切り替え、加えてホームページに募集案内を掲載したところボランティア登録希望者が30名以上増えました。

一昨年度より行っている、ボランティア自身の企画・運営・実施によるグループ活動も、より主体性をもって継続しました。

- ・ボランティア登録者：65 人(3 月末時点)
- ・日本語マッチング件数：16 件
- ・講座・交流会参加者：160 人（市民、留学生あわせて）



実施日	内 容
4 月～3 月	留学生とボランティアを随時マッチング
6 月 17 日(土)	ボランティア情報交換会
6 月 17 日(土)	ボランティアによる就職セミナー
10 月 9 日(月・祝)	ボランティアによるバザー
10 月 21 日(土)	ボランティア企画グループイベント①總持寺へ行こう！
11 月 19 日(日)	ボランティア企画グループイベント②動物園へ行こう！
2 月 10 日(土)	ボランティア企画グループイベント③初詣に行こう（川崎大師）
2 月 18 日(土)	著作権研修会&情報交換会
3 月 2 日(土)	ボランティア企画グループイベント④抹茶体験&ひなまつり
3 月 30 日(土)	ボランティア企画グループイベント⑤お花見（三ッ池公園）

(2) 就職・生活相談支援

留学生のための就職サポートとしては、年間を通じて国際学生会館の就職支援ボランティアがマンツーマンで「留学生のための就職個別相談」を行っています。外部でのハローワーク登録や合同面接会等への同行サポート等も行いました。

生活支援では、主に家族滞在の母子のサポートとして、地域での親子サロンの紹介・同行サポート等をしています。

またアルバイト先とのトラブル時に、サポート先とつなげたりもしています。

- ・講座・イベント参加:延べ 83 人
- ・就職個別相談マッチング数:4 件

※学生会館内で行ったもののみ。(外部で実施しているイベント等に同行支援も別途あり。)



実施日	内 容
4 月～3 月	留学生のための就職個別相談(対面/オンライン)
7 月 29 日(土)～(1 年を通じて)	入居者への支援物資の配給
6 月 10 日(土)	外国出身者による就職セミナー (就職サポートも依頼)
6 月 28 日(水)	東京外国人雇用サービスセンター合同面接会
8 月 8 日(火)	かなファンまつり 合同就職説明会
11 月 18 日(土)	OB・OG の就職体験談を聞く会&OB・OG 会
12 月 18 日(月)	かなファン企業訪問ツアー(旭商工社)
1 月 29 日(木)	外国人雇用サービスセンター留学生合同企業面接会

(3) 留学生会支援

レジデントアシスタント(RA)と留学生会(YRA)代表のミーティングを開催し、入居者と職員との情報交換の場としました。また留学生会は独自に主体企画イベントを実施したほか、学生会館との共催で歓迎会と送別会を開催しました。

※ 留学生会(YRA)は、入居者が会員になっている親睦組織。

※ レジデントアシスタント(RA)は、日本国籍または日本永住権を持つ外国籍の学生で、職員と協力して学生会館の運営にあたる役割を担う。

・RA&YRA 代表ミーティング: 4 回、参加者:94 人

・YRA と学生会館との共催事業:4 回、参加者:141 人



送別会

実施日	内容
4 月 22 日(土)	歓迎会
8 月 5 日(土)	ミニ送別会
10 月 8 日(日)	秋の歓迎会
2 月 24 日(土)	送別会



歓迎会

・留学生主体事業:12回、参加者:218人

実施日	内 容
5月3日(水)	Cooking Event
5月4日(木)	鶴見を探索しよう!
5月27日(土)	Takoyaki Party
6月23日(金)	Movie Night
7月31日(月)	みなとみらい花火大会
8月5日(土)	インドネシアウィーク
8月5日(土)・6日(日)	手持ち花火
12月9日(土)	忘年会
12月31日(日)	Count Down
1月3日(水)	新年会
1月28日(日)	Takoyaki Party
2月12日(月)	富士山&温泉1日ツアー



2023 年度 RA&YRA 代表



手持ち花火



富士山&温泉1日ツアー



インドネシアウィーク

4 行政施策への協力

7月に韓国の仁川広域市少年サッカー選手団(23名)と横浜市ジュニアサッカー選抜チームとの交流会に通訳者として韓国の留学生が協力しました。

また自分の住んでいるまちは自分たちで守る」ための意識・知識を持ってもらうため鶴見消防団第二分団の訓練に留学生が7月と8月に参加しました。

3月に英語で行われたサイエンスフロンティア高校ポスター発表会にオブザーバーとして参加し、高校生のスキル・モチベーションの向上に協力しました。



鶴見消防団の訓練に参加

5 広報事業

(1) 独自媒体を使った広報

① 『よこはま地球村』の発行

季刊紙『よこはま地球村』を発行しました。

- ・発行日： 116号(夏号 6月1日)、
117号(秋号 9月1日)、
118号(冬号 12月1日)、
119号(春号 3月1日)

・体裁:A3 二つ折一色刷

・発行部数:各号 2,000部



よこはま地球村 119号

② ホームページ・フェイスブックによる情報発信(日本語・英語)

学生会館のホームページをリニューアルしました。学生会館主催・共催のイベント 情報や留学生の日常生活の様子を、学生会館ホームページや横浜市国際交流協会 Facebook で随時発信しました。

(2) 外部媒体を使った広報

広報よこはま「鶴見区版」、鶴見区民活動センター発行の「あぶりお」、全国紙、地方紙、専門情報紙、ミニコミ紙、テレビ、ケーブルテレビなど様々な媒体を使ってイベントへの参加者募集や新規入居者の募集行いました。

第6章 イベントカレンダー

(2023年4月1日～2024年3月31日)

2023年

開催日		事業名
4月	1日(金)～7日(木)	入居期間特
	1日(金)～	ボランティア登録及びボランティアとのマッチング
	1日(金) ～2024年3月15日(金)	民族衣装貸出
	4日(火)	RA&YRA代表ミーティング(月1回、第1火曜日)
	7日(金)	市大交換留学生入居(入居説明&オリエンテーション)
	8日(土)	新入居者オリエンテーション
	10日(土)	2次募集者入居開始
	20日(木)	三施設会議(月1回、第3木曜日)
	22日(土)	潮田交流プラザ合同消防訓練
		歓迎会(Welcome Meeting)
		支援物資の配給①(ノジマ)
5月	3日(水)	[YRA自主事業]Cooking Event
	4日(木)	[YRA自主事業]鶴見を探索しよう!
	10日(水)～19日(金)	第3次入居者募集
	11日(木) ～2024年2月8日(木)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge
	23日(日) ～2024年2月11日(日)	TIF(戸塚インターナショナルフォーラム)ゲストスピーカー参加9回
	27日(土)	[YRA自主事業]Takoyaki Party
6月	1日(木)	ニュースレター よこはま地球村116号 発行
		「2021年度事業報告書」 発行
		第3次採用者入居開始
	1日(木)～9月10日(日)	前期個人語学サロン
	4日(日)	潮田神社祭礼
	10日(土)	Adecco就職セミナー
	14日(水)	親子サロン「おのしおキッズ」
	15日(木)	潮田交流プラザ第1回秋まつり実行委員会
	17日(土)	【ボランティア主体事業①】就職セミナー&情報交換会
	19日(月)	親子サロン「ふらっとルーム潮田」
	20日(火)	親子サロン「潮見橋ちびっ子広場」
	23日(金)	[YRA自主事業]Movie Night
	28日(水)	第1回安否確認メール送受信訓練
		東京外国人雇用センター合同面接会
	29日(木)～7月8日(土)	七夕短冊飾り

2023年

開催日		事業名
7月	1日(土)	留学生による文化講座「Korea～韓国の若者は今～」
	2日(日)	鶴見消防団の訓練の体験
	3日(月) ～2024年2月29日(木)	留学生の出前授業
	21日(金)	サイエンスフロンティア高校の留学生インタビューへの協力
	22日(土)	9月退官者説明会
	22日(土)	潮田西部地区納涼祭
	23日(日)	グループ英語サロン
	28日(金)～7月31日(月)	日韓親善ジュニアサッカー大会(通訳ボランティアとして参加)
	28日(金)～9月3日(日)	ホームビジット(夏期)
	29日(土)	グループ中国語サロン
		グループ韓国語サロン
		支援物資(水と保存食)の配給②(Stock Base)
	31日(月)	[YRA自主事業]みなとみらい花火大会
8月	1日(火)	親子サロン「潮見橋ちびっ子広場」ちびっ子夏まつり
	2日(水)～26(土)	3回連続語教室(ウズベク語、ウルドゥ語、韓国語、モンゴル語)
	5日(土)	[YRA自主事業]インドネシアウィーク
		[YRA自主事業]ミニ送別会
	5日(土)～6日(日)	[YRA自主事業]手持ち花火
	6日(日)	支援物資(水)の配給③(Stock Base)
	8日(火)	かなファンまつり 合同就職説明会
	24日(木)	南高等学校のスタッフ及び留学生インタビューへの協力
	26日(土)	潮田地区センター共催文化講座(バングラデシュ)
	28日(月)	潮田交流プラザ第2回秋まつり実行委員会
9月	1日(金)	ニューズレター よこはま地球村117号 発行
	10日(日)	汐入小防災拠点開設訓練
	19日(火)	市大交換留学生入居説明会
		支援物資(水)の配給④(Stock Base)
	21日(木)	留学生派遣(鶴見大学附属中学校)
	23日(土)	潮田交流プラザ秋まつり準備
	24日(日)	潮田交流プラザ秋まつり
		[YRA自主事業]お祭りお疲れ様会
	28日(水)～29日(木)	留学生派遣(サイエンスフロンティア高校)
10月	1日(日)～2024年2月	オンライン語学サロン
	8日(土)	西部地区スポーツの集い
		秋のYISH Welcome Meeting(歓迎会)
	9日(月)	【ボランティア主体事業②】バザー
	16日(月)～22日(日)	第4次入居者募集
	21日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化①】總持寺へ行こう!

2023年

開催日		事業名
11月	1日(水)	第4次採用者入居開始
	1日(水)	支援物資(水)の配給⑤(Stock Base)
	8日(水)	親子サロン「おのしおキッズ」
	9日(木)～3月13日(水)	グローバル講話 5回(サイエンスフロンティア高校)
	12日(日)	潮田西部地区支え合いパーティー
	20日(月)	潮田交流プラザ秋まつり実行委員会3
	18日(土)	OBOG就職体験談会&OBOG会
	19日(日)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化②】動物園へ行こう!
	17日(金)	金沢シーサイドFM出演
	25日(土)	留学生による文化講座「不思議!ミャンマーの伝統的な文化」
12月	1日(金)	ニュースレター よこはま地球村118号 発行
	1日(金)	2024年度入居者募集案内の配布
	7日(木)	【共催】寺尾地区センター／留学生に学ぶ「ウズベキスタンってどんな国?」
	9日(土)	3施設合同避難訓練
	9日(土)	[YRA自主事業]忘年会
	13日(水)	第1回退館者説明会
	15日(金)～16日(土)	クリスマスランタンフェスタ2023への協力
	16日(土)	【共催】潮田地区センター／留学生に学ぶ「ウズベキスタンの料理と文化」
	17日(日)	本町通4丁目餅つき大会
	31日(日)	[YRA自主事業]Count Down
1月	4日(木)	[YRA自主事業]新年会
	4日(木)	支援物資(水)の配給⑥(Stock Base)
	10日(水)	第2回退館者説明会
	14日(日)	本町通り四丁目防災訓練
	27日(土)	2024年度入居者募集締切
	28日(日)	新入居者(RA)面接
	28日(日)	[YRA自主事業]Takoyaki Party
	30日(火)	第2回安否確認メール送受信訓練
2月	1日(木)	入居審査会
	3日(金)～23日(金)	ホームビジット(春期)
	10日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化③】初詣に行こう(川崎大師)
	12日(月)	[YRA自主事業]富士山&温泉1日ツアー
	18日(日)	第3回退館者説明会
	18日(日)	研修会&ボランティア情報交換会
	21日(水)	支援物資(水)の配給⑦(Stock Base)
	24日(土)	1st YISH Congress 2024(学生の研究発表会)
	24日(土)	送別会
	28日(水)	第1回入居契約説明会
	29日(木)	第2回入居契約説明会

2023年

開 催 日		事 業 名
3月	1日(金)	ニュースレター よこはま地球村119号 発行
	2日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化④】抹茶体験
	3日(日)	第4回退館者説明会
	6日(水)	第3回入居契約説明会
	7日(木)	支援物資(水)の配給⑧ (Stock Base)
	9日(土)	第2回USIODAフェスタ
	16日(土)	「英語研究発表会」への参加(サイエンスフロンティア高校)
	15日(金)	市大交換留学生退館最終日
	26日(火)	支援物資(水)の配給⑨ (Stock Base)
	28日(木)	退館最終日
	30日(土)	ボランティア企画イベント【日本語と日本の文化⑤】お花見

第7章 2023年度予算決算書

(単位 千円)

		内 訳	予算額	執行額	備 考
収入項目	指定管理料	人件費	36,489	36,489	副受信機修繕工事費
		事業費	2,725	2,725	
		管理運営費	62,243	62,243	
		受託収入	0	1,055	
		小 計	101,457	102,512	
	その他の収入	事業収入	800	447	
		寄付金収入	20	20	
		設備機器利用料収入	3,600	4,477	
		雑収入等	80	90	
		受取利息	2	1	
	小 計	4,502	5,033		
収入合計			105,959	107,545	

支出項目	人件費		館長、副館長、職員（4人）、非常勤職員（3人） 計9人	36,489	35,446	
	事業費		留学生・市民交流事業費	2,725	2,103	
	管理運営費			66,745	67,906	
	運営費（事務費）			5,500	6,083	
	公租公課費			3,200	3,672	
	委託費			32,587	29,855	
		設備管理		10,287	9,598	
		設備点検		7,000	5,909	
		警備		5,800	5,735	
		清掃		9,500	8,614	
	修繕費			6,359	9,980	副受信機修繕工事
	施設管理者保険料			130	154	
	光熱水費			18,969	18,162	
		電気		10,969	8,335	
		ガス		2,000	1,706	
		上下水道		6,000	8,121	
	経営安定積み立資産取得及び一般会計繰入			—	—	
支出合計				105,959	105,455	
当期収支差額				0	2,090	

第 8 章 留学生統計

1994 年 5 月の会館創立以来 28 年間に、多くの国・地域の留学生が入居しました。その数は 2023 年度末で 91 か国・地域の 2,227 人に上ります。学生たちは現在、日本国内で、世界各地で、学問、芸術、政治、経済、行政、司法等あらゆる分野で活躍しています。

学生会館 OBOG の出身国・地域別状況

2024 年 3 月 31 日現

出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数
1 中国	979	24 エジプト	11	47 ケニア	4	70 オマーン	1
2 韓国	297	25 フィリピン	11	48 シリア	4	71 オランダ	1
3 日本	98	26 パキスタン	10	49 チェコ共和国	4	72 カザフスタン	1
4 台湾	89	27 エチオピア	9	50 ハンガリー	4	73 ガボン	1
5 ベトナム	76	28 カメルーン	8	51 ヨルダン	4	74 ギリシャ	1
6 アメリカ	64	29 カンボジア	8	52 ウガンダ	3	75 コロンビア	1
7 ネパール	44	30 スペイン	9	53 ザンビア	3	76 コンゴ民主共和国	1
8 インドネシア	36	31 ブータン	7	54 トルコ	3	77 シエラレオネ	1
9 イタリア	35	32 フィンランド	7	55 南アフリカ	3	78 ジンバブエ	1
10 マレーシア	32	33 ロシア	7	56 クロアチア	2	79 ソマリア	1
11 バングラデシュ	28	34 イラン	6	57 スウェーデン	2	80 チュニジア	1
12 モンゴル	28	35 セネガル	6	58 ノルウェイ	2	81 チリ	1
13 スリランカ	26	36 ブルガリア	6	59 ポーランド	2	82 トーゴ共和国	1
14 タイ	24	37 香港	6	60 マダガスカル	2	83 トルクメニスタン	1
15 インド	22	38 メキシコ	6	61 南スーダン	2	84 パナマ	1
16 ブラジル	20	39 ラオス	6	62 ユーゴスラビア	2	85 パラグアイ	1
17 カナダ	17	40 ルーマニア	6	63 ルワンダ	2	86 ベルギー	1
18 ドイツ	16	41 ウズベキスタン	5	64 アイルランド	1	87 ボスニアヘルツェゴビナ	1
19 オーストリア	14	42 ガーナ	5	65 アフガニスタン	1	88 ボツナワ	1
20 ナイジェリア	13	43 タンザニア	5	66 アルゼンチン	1	89 モルドバ	1
21 ミャンマー	13	44 マラウイ	5	67 イエメン	1	90 ラトビア	1
22 フランス	12	45 オーストラリア	4	68 イスラエル	1	91 リベリア	1
23 イギリス	11	46 キルギス	4	69 ウクライナ共和国	1	合計	2227

全国状況

2023 年 5 月 1 日現在

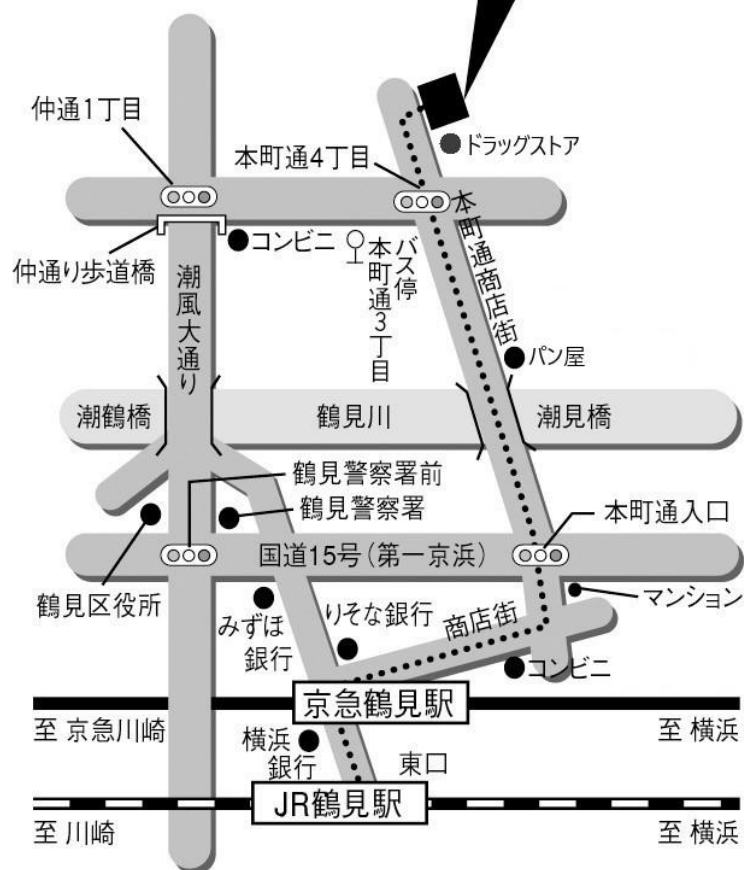
2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
279,597 人	242,444 人	231,146 人	279,274 人

出身国・地域別留学生数

	国・地域	留学生数 ()内は 2022 年度	構成比 ()内は 2023 年度
1	中国	115,493(103,882 人)	41.3%(44.9%)
2	ネパール	37,878 人(24,257 人)	13.5%(16.1%)
3	ベトナム	36,339 人(37,405 人)	13.0%(10.4%)
4	韓国	14,946 人(13,701 人)	5.3%(5.9%)
5	ミャンマー	7,773 人(3,813 人)	2.7%(2.4%)

※出典：(独)日本学生支援機構による「外国人留学生在籍状況調査」より

横浜市国際学生会館



◆交通案内

- ・JR京浜東北線・京浜急行線「鶴見駅」より徒歩15分
- ・JR鶴見駅東口より市営バス15系統（4番乗り場）に乗車5分、本町通3丁目にて下車、徒歩1分

◆開館時間

火曜日～土曜日 9:00～21:00
日曜日、月曜日、祝日 9:00～17:00
休館日 毎月第4月曜日、年末年始

横浜市国際学生会館

〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4丁目171番地の23

Tel 045-507-0121 / Fax 045-507-2441

<https://yish-yoke.com>

2022 年 6 月発行



学生会館のマスコット ラブアースベア